

平成19年度小学校における英語活動等国際理解活動推進事業
拠点校の取組概要

拠点校名： 美祢市立大嶺小学校

1 年間スケジュールに基づいて実施した事業経過
(取組内容)

学期	主なねらい	月	取組内容
1	「自分に関する英語に親しむ」	4	研究推進のための組織づくり 授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備
		5	英語グループにおける研究計画立案 授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備
		6	「小中高英語教育連携研究協議会」(県教委主催6/12)参加・報告 学校教育国際化セミナー(広島市6/30)参加・報告 授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備 夏季校内研修会の内容立案
		7	授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備 1学期の実践のふり返り 夏季校内研修会の開催(ワークショップを通して授業づくりを考える・授業プラン作成7/27)
		8	2学期の授業計画 授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備
2	「英語で伝え合う」	9	授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備
		10	授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備
		11	「小学校英語活動等国際理解教育に係る研修会」(県教委主催11/22)参加と報告 授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備
		12	授業づくりについての研究 2学期の実践のふり返りと3学期の授業計画 教材・教具の作成、学習環境の整備
3	「英語の世界を広げる」	1	全国小学校英語活動実践研究大会参加(大牟田市1/25, 26)と報告 授業づくりについての研究 教材・教具の作成、学習環境の整備
		2	京都市立第四錦林小研究発表会(2/8)参加と報告 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業推進校連絡会議」(県教委主催2/28)参加と報告 授業づくりについての研究 教材・教具の作成 学習環境の整備 今年度の研究のまとめ(授業プラン集作成)
		3	授業づくりについての研究 教材・教具の作成 学習環境の整備 資料等整理

2 本校における取組の具体的な内容

○ 教員の指導力向上のための取組について

今年度の研修の中に英語活動を取り入れ、年間を通し英語教育グループを中心に研究を推進してきた。

また、担任主導で進める英語活動への移行に向け、夏季休業中に教職員対象の英語活動研修会を開催した。「体験を通して学ぶ」ことを目的としたこの会では、教職員がALTと実際に英語活動を体験し、様々なゲームやアクティビティの方法、また、英語活動の進め方やALTとのチームティーチングの具体について学んだ。研修会の後半には、ブロックごとにプラン作成のアクティビティを行い、その後、代表者によるプレゼンテーションを行うことで、全体での情報の共有化を図った。

○ 効果的な指導方法の工夫改善について

(1) 年間カリキュラムと授業プランの作成

昨年度末に美祢市教委が中心となって作成した年間カリキュラムをもとに、本校の実態に合わせたカリキュラムを作成した。毎時間の授業は、それをもとに、児童の実態や教師の願い、季節や行事などのテーマ等を考えながら作成してきた。

(2) 授業の構成のパターン化

毎回の授業の基本的な構成をパターン化することにより、児童が安心して英語の世界に入り、のびのびと英語を使った活動に親しむことができるよう配慮した。

① はじめのあいさつと歌	② 前時の復習
③ 今日のトピック	④ アクティビティ1
⑤ アクティビティ2	⑥ 文化理解のコーナー
⑦ 歌とおわりのあいさつ	

(3) 教材の作成と蓄積

授業で用いる教材・教具は、基本的に毎回授業内容にあったものを作っている。ただし、市販されているカード類も随分充実してきているため、それらも効果的に活用するようにしてきた。

また、作成した教材は、トピックごとに分類し、次年度に活用できるようストックしている。

さらに、年度末には、1年間に作成した授業プランをまとめた「ワールドタイム授業プラン集」を発刊し、次年度の英語活動の足がかりとするとともに、市内の小学校に配布することにより、普及活動の一助となるように努めた。

(4) 授業をつなぐ

英語教育グループにおける話し合いの中で、英語活動の授業と授業をつなぐための教室での取組みについての意見もまとめられた。たとえば、授業での学びを振り返ることのできるような場の設定、英語の絵カード掲示などの雰囲気づくり、また、授業に際して児童に目的意識をもたせ、モチベーションを高めるなどのことである。こうして限られた授業回数の中での英語とのふれあいを大切につなぐ工夫をしてきた。

○ ALTや地域人材等の効果的な活用について

(1) 指導者の役割の明確化

ワールドタイムの指導は、基本的にJTEとALT、担任の先生のチームティーチングで行ってきたが、より効果的な指導のために、それぞれの役割を明確にした。

まず、児童の実態をよく知る担任が児童の実態に即した授業づくりに関わり、授業に際しての学級づくりの役割も担う。活動中は児童のモデルとしての役割を果たし、児童に「自分にもできそうだな」という安心感をもたせたり、児童の実態に応じた適切な支援を行ったりしてきた。

JTEは、英語活動の全体計画の作成、また学級担任と協力しながら、各時間の授業プランや教材・教具の準備を中心となって行う。ALTとの打ち合わせ時間ももてない担任にかわって、ALTとの打ち合わせや意見交換を行う役割も担ってきた。

ALTには、発音や話し方。態度のモデルとなってもらうとともに、異文化

コミュニケーションの対象となり、児童の関心や意欲を高める役割も担ってもらった。さらにJTEと協力しながら授業づくりにも関わってもらった。

(2) 事前の打合せについて

A L Tとは授業の前に十分な打合せの時間がもてないため、具体的な活動内容を記した授業プランを事前に送付し、授業内容についての共通理解を図るようにしてきた。

○ 児童の興味関心等学習状況の変容の把握について

(1) 児童の実態調査

昨年度末と今年度末に児童の英語活動に対する興味・関心の調査を実施し、その分析から児童の学習状況の変容を把握するようにした。

(2) 児童の自己評価より

各授業の最後に、児童が「ふりかえりカード」を用いて自己評価を行ってきた。カードの評価内容及び感想から児童の意識の変容を把握するようにしてきた。

○ その他（中学校との連携、ICTの効果的な活用等）

中学校との連携については、今年度うまく図ることができなかった。次年度の大きな課題の1つである。また、ICTの活用については、今年度、授業の最後に設けてある「文化理解のコーナー」で写真ソフトやパワーポイントを使って資料提示する場をもった。さらに有効な活用については次年度の課題としたい。

3 本校における取組の成果等

4月当初は、特に高学年において、男子に比べ、女子は自己表現が苦手な児童が多く、また、男女を通して英語そのものにあまり興味・関心がない児童も多かった。

年間を通して英語活動の実践を積み重ねる中で、授業においてまた、生き生きと英語の発音をしたり、楽しそうにゲームをしたりする姿が見られるようになっていく。授業中の顔つきからも英語との関わりを楽しんでいる様子が見えてくる。また、年度当初、授業中にあまり話さなかった児童が、A L Tのあとに大きな声で英語を繰り返したり、英語を使ったゲームに生き生きと参加する姿も見られるようになった。

さらに、ほとんどの児童が英語活動の時間を大変楽しみにしており、日常の学校生活の中でも英語を楽しんで使うようになってきている。例えば、友達や教師に英語であいさつしたり、新しく覚えた英単語を嬉しそうに使ったりするなどである。

また、前述のように、多くの児童が外国の人たちに物怖じすることなく接することができるようになっていく。外国の方々に自信をもって英語で話しかける児童も多い。児童の実態調査からも児童が英語に慣れ親しんできている様子や、英語活動を楽しんでいることが伺えた。

今年度の活動を受け、次年度の英語活動の在り方について、下のようなことを大切にしたいと考えている。

○ 普段、コミュニケーションを苦手としている児童が英語と関わる中で言葉を介してのコミュニケーションに興味をもち、また、自信をつけることで、積極的に他人と関わるようになるような活動を仕組む。

○ 英語を通して児童の視野を広げる。

○ 英語活動と国際理解教育との関連についてさらなる研究を進める。

○ 児童の学びを生かした活動について考える。（例えば英語劇に取り組みさせるなど）

○ 児童がゴールを意識して取り組めるような活動を仕組む。（自分たちの学びの意味を意識させることで、意欲化を図る。）

○ ワークショップなども取り入れた学校全体での研修の場を多くもち、全校教職員の英語活動に対する共通理解を図るとともに、学級担任が主体となってつくりあげる英語活動の授業に向けての研究を進める。

LESSON PLAN 10

天気

ねらい	① 身近にある英語を使って、天気を聞く表現にふれ、ゲームを通じて楽しみながら、それらの表現に親しみをもつ。 (B-②③④) ② 英語を使った自己表現を通して、コミュニケーションの楽しさを味わう。 (A-①②③) ③ アメリカの運動会の話を通して外国の学校生活に興味をもち、進んで質問したり、自分たちの生活と比べたりして、自分なりの意見をもつ。 (C-①②)
言語材料	言語機能 あいさつ：How are you? I'm fine/ok/sick/sleepy/hungry. Good morning. See you. 天候を聞く："How's the weather today?. "It's ~. "(sunny,cloudy,rainy)
準備物	① 歌のCD、CDプレーヤー ② 体調を表すカード(教師用) ③ お天気カード(掲示用) ④ お宝ゲットゲーム(児童用) ⑤ お天気集めカード(児童用)

《活動の流れ》

過程	内 容		
	JTE・HRT	ALT	STUDENTS
1. 簡単なあいさつと英語活動への導入 (3) SONG "Good Morning" 「天候を聞く」 "How's the weather today?. " I t's ~. 「体調を聞く」 "How are you?" "I 'm ~."	返事をする。 ALTと一緒に歌う。 児童と一緒に答える。 ※絵カードを掲示する。	"Good morning." "Hello." 歌う。 天候を聞く。 英語で体調をきく。 ※リズムよく表現方法を体感させるようにする。	あいさつをする。 ALTと一緒に歌う。 質問に答える。 体調に合わせていろいろな答え方があることを想起する。(ALTのあとに続けて発音する)
2 復習① "What subject do you like?" "I like ~." (3)	教科の絵カードを提示する。 児童の支援をする。	児童に好きな教科を尋ねる。	好きな教科を答える。 I like (Japanese, math, science, music, art, P.E.).
3 復習② "What bug do you like?" (4)	児童の支援をする。	虫カードを提示し、それらの名前を児童に聞く。 What's this? 児童に好きな虫を聞く。 What bug do you like?	カードを見て虫の名前を答える。 It's~. (beetle, mantis, butterfly, ant, dragonfly, cicada, grasshopper, ladybug, cockroach) 好きな虫を答える。 I like~.
4 アクティビティ ①お宝ゲットゲーム (10)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> It's (hot, cold, cool, warm). </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ① 児童に天気と気候の書かれたカードを配る。 (横列：hot, cold, cool, warm) (縦列：sunny, rainy, cloudy, </div>	絵カードを用いて、気候に関する表現を伝える。 ゲームの方法を伝える。	※事前に「天気」についての学習であることを伝え、意識を高めておく。 ゲームの方法を理解する。

	<p>snowy)</p> <p>※マス目が16個あるカード</p> <p>② 児童は、マス目の中の好きな場所に8個の☆印を書く。</p> <p>③ 児童は、ALTに "How's the weather?" と聞く。 ALTは、"It's sunny, it's hot." というように答える。</p> <p>④ 児童は、自分のカードを見て、縦軸と横軸の交わったところに☆印があれば、それを○印で囲む。</p> <p>⑤ 最後に、より多くの○印がある児童が勝ちになる。</p>		<p>ゲームをする。 ※ALTに英語で話す・ALTの英語を聞く、という活動を大切にさせる。</p>
<p>②お天気集めゲーム (15)</p>	<p>デモンストレーションを通して、その場所の天気を聞く・答える表現について伝える。</p> <p>ALT: "How's the weather in Mine?" HRT: "It's sunny." ALT: "Thank you."</p> <p>ゲームの方法を伝える。</p> <p>① 曲がかかったら、各自が天気集めカードを持って教室内を自由に歩き回る。 ※カードには7つの都市が示しており、そのうちの1つの都市の天気だけが示されている。</p> <p>② 曲が止まったら、相手を見つけ、ジャンケンをする。勝った方から先に相手に聞きたい場所の天気を聞く。 "How's the weather in ○○?"</p> <p>③ 聞かれた児童は、もし、その天気を知っていれば、"It's . ."で答える。知らなければ、 "Sorry, I don't know."と答える。 いずれの場合も答えてもらった児童は"Thank you."と言う。</p> <p>④ 次に、ジャンケンで負けた児童が相手に同じの質問をし、同様のやりとりをする。</p> <p>⑤ これを繰り返し、自分のカードの7つの都市全ての天気を書き込んだら、教室の前に座る。</p> <p>児童の英語をチェックしながら、活動の補助をする。</p>	<p>デモンストレーションの表現について理解する。</p> <p>ゲームの方法を理解する。</p> <p>ゲームをする。 ※友達の英語を聞く・友だちに英語で話す、という活動を大切にさせる。</p>	
<p>5 文化理解コーナー 「アメリカの運動会」 (8)</p>	<p>必要に応じて質問の補足をする。</p>	<p>子どもたちの質問に答える。</p>	<p>アメリカの運動会について自由に質問する。 ※事前にテーマを与え、意識を高めておく。</p>
<p>6 授業の終わり (2)</p>	<p>"See you!"</p>	<p>"That's all for today. See you."</p>	<p>"Thank you. See you."</p>

LESSON PLAN 26

買い物しよう・2

ねらい	① 買い物に関する表現にふれ、ゲームを通じて楽しみながら、それらの表現に親しみをもつ。 ② 英語を使った自己表現を通して、コミュニケーションの楽しさを味わう。 ③ アメリカの生活文化に関する話を通して異文化に興味をもち、進んで質問したり、自分たちの生活文化と比べたりして、自分なりの意見をもつ。
言語材料	<p>あいさつ：How are you? I'm fine/ok/sick/sleepy/hungry. Good morning. See you.</p> <p>買い物に関する表現：Can I have ~? / Yes, sure. No,sorry / Thank you Here you are. / Thank you.</p> <p>支払いに関する表現：How much? / It's ~ dollar(s).</p> <p>食べ物の名前：bread, kiwi, cherry, strawberry, fish, onion, pizza, doughnut, cookies, carrot, cake, corn, tomato, chocolate, milk, hotdog, melon, pumpkin, potato, lemon, pineapple, hamburger, cheese, candy, peach, banana, egg, grapes, ice cream, apple,carrot, peach</p>
準備物	<p>① 歌のCD、CDプレイヤー</p> <p>② 体調を表すカード（教師用）</p> <p>③ お天気カード（掲示用）</p> <p>④ 食べ物カード（掲示用・児童用）</p> <p>⑤ ふりかえりカード</p> <p>⑥ 筆記用具</p>

《活動内容》

過程	内 容		
	JTE・HRT	ALT	STUDENTS
<p>1. 簡単なあいさつと英語活動への導入 (5)</p> <p>SONG "Good Moning" 「天候を聞く」 "How's the weather today?" "It's~." 「体調を聞く」 "How are you?" "I'm ."</p>	<p>返事をする。</p> <p>ALTと一緒に歌う。 児童と一緒に答える。</p> <p>※絵カードを掲示する。</p>	<p>"Good morning." "Hello."</p> <p>歌う。</p> <p>天候を聞く。</p> <p>英語で体調をきく。 ※リズムよく表現方法を体感させるようにする。</p>	<p>あいさつをする。</p> <p>ALTと一緒に歌う。</p> <p>質問に答える。 体調に合わせていろいろな答え方があることを想起する。(ALTのあとに続けて発音する)</p>
<p>2 GUESS GAME 「食べ物の名前」 (5)</p>	<p>ALTの補助をする。</p>	<p>いくつかのヒントをもとに、その食べ物の名前を当てさせる。 "What's this?"</p>	<p>食べ物の名前を予想して英語で発音する。</p>
<p>3 復習 「買い物についての表現」 (5)</p>	<p>ALTの補助をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【DEMO】 ALT: May I help you? HRT:Can I have ~? ALT:Yes, sure. HRT:How much? ALT:One dollar please. HRT:（お金を渡す） ALT: Here you are.（商品を渡す）</p> </div>	<p>デモンストレーションを通して、買い物に関する表現を伝える。</p>	<p>買い物に関する表現を知る。</p>

	<p>HRT:Thank you. ALT:Thank you. ※商品が店にない場合は ALT:No, sorry. HRT:Bye.</p>	<p>児童にお客さんになっ てもらい、お店屋さん とお客さんのやりとり を練習させる。</p>	<p>お客さんの役にな り、表現を練習す る。</p>
<p>4 アクティビティ 「買い物ゲーム」 (18)</p>	<p>品物をお店で買 うときの様子を 想像させ、関心 を高めさせる。 ALTの補助を する。</p> <p>① 児童に買い物リスト(4種類)と1 ドル札を5枚ずつ配る。 ② ALT・HRTが店屋役となり、客役の児 童は買い物リストの品物をそれぞれの 店に買いに行く。どの店に何がおいて あるかはわからない。 ③ さらに、リストの中には値段の高い 商品もある。値段が高くて買えない時 には"No, thank you."と言って断る。 ④ リストの中から上手に5つの商品 を選んで買い物ができたらあがり。 ⑤ 最後に児童の買い物を紹介させる。</p> <p>店員役をしながら、児童を補助 する。</p>	<p>デモンストレーション を通してゲームの説明 をする。</p> <p>店員役をしながら、児 童を補助する。</p>	<p>ゲームの方法を理 解する。</p> <p>ゲームを楽しむ。 ※実態に応じ、 Can I have?の表現 が難しい児童に は、～ please.でも よいことを伝える。 買い物終了後、自 分の買い物を紹介 する。 ゲームの方法を聞 き、理解する。</p>
<p>5 文化理解コーナ ー 「アメリカのスー パーマーケット」 (8)</p>	<p>写真資料を用い てアメリカのお 店の様子につい て説明する。</p> <p>必要に応じて質 問の補足をする。</p>	<p>児童の質問に答える。</p>	<p>説明を聞き、疑問 に思ったことを質 問する。</p>
<p>6 授業のふりかえ り (3)</p>	<p>児童の支援をす る。</p>		<p>授業のふりかえり をし、カードに記 入する。</p>
<p>7 授業の終わり (1)</p>	<p>"See you!"</p>	<p>"That's all for today. See you."</p>	<p>"Thank you. See you."</p>